

資料2

こども・若者の意見聴取結果と反映について

計画素案 第2章 5. こども・若者への意見聴取の概要→P48～

こども・若者への意見聴取結果①～④について

① 焼津市のこども・若者に関する調査

調査対象者	市内在住の15歳～39歳の市民から無作為抽出
調査票配布数	4,000件
調査期間	令和5年2月2日(金)～令和5年2月29日(木)
調査方法	郵送による配布、郵送による回収及びインターネットによる回答
回収数	1,137件
回収率	28.4%

○保育園・幼稚園に関するもの 30件

- ・ 保育料の負担減、無償化
- ・ 待機児童の改善
- ・ 預けたいときに預けられる場所や環境の整備
- ・ こども園を充実させてほしい
- ・ 希望する保育園に入れない

○相談などの支援に関するもの 27件

- ・ こども・若者の心の休まる支援
- ・ 産前産後のサポートの充実
- ・ 相談できる環境づくり、人材育成
- ・ 部分的な支援でなく、継続した支援
- ・ 相談できる場所の広報が不足

○居場所や公園などの環境に関するもの 9件

- ・ 中高生に魅力のある場所
- ・ 若者が遊べる場所
- ・ ずっと住み続けたいと思う環境の整備
- ・ こどもの居場所の充実
- ・ 公園や支援センターの設備の充実

○教育に関するもの 15件

- ・ 教育の労働環境や条件の整備
- ・ ICTの積極的な活用
- ・ 不登校の支援
- ・ 通学路の道や標識などの整備
- ・ 生徒だけでなく、親や教師の意識改善

○経済的支援に関するもの 23件

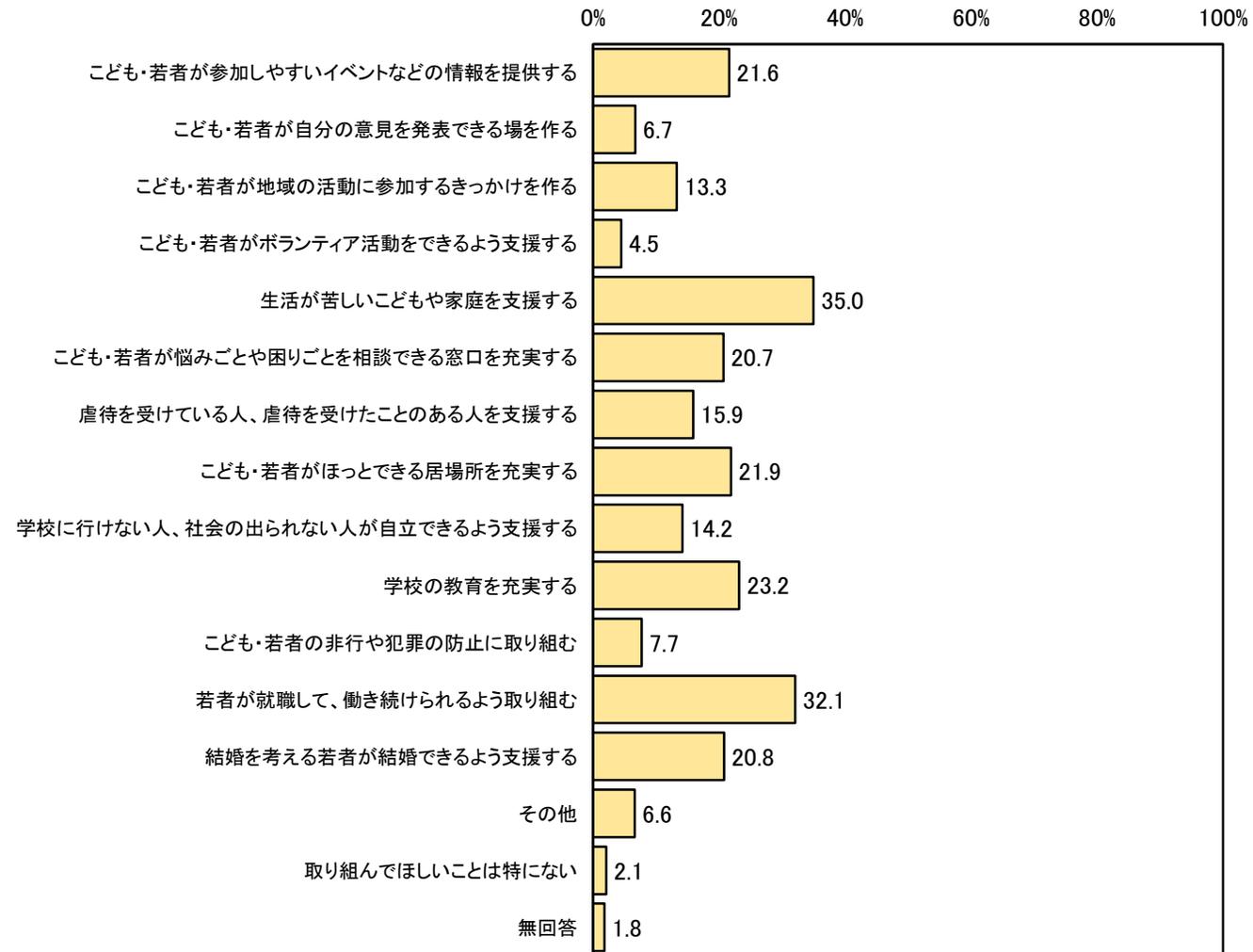
- ・ こどもの手当の増額
- ・ 高校、大学の授業料無償化
- ・ 給食費の無償化
- ・ 将来的に結婚して子供を産みたくても金銭面での余裕がない

○その他 163件

- ・ 自治会組織への不満
- ・ スポーツや習い事への助成
- ・ 結婚に対する支援
- ・ 物価高、給与への不満
- ・ 将来への不安

焼津市に取り組んでほしいこども・若者への支援

(n=1,137)



② こども・若者意見交換会

対象者	焼津市のこども・若者に関する調査に回答した15歳～19歳の回答者のうち、座談会への出席意向があった者
開催日	※台風の影響により開催を中止。
参加者数	参加予定だった方に、意見交換会でテーマにする予定だった項目について、別途ヒアリング調査を実施。 ⇒7名が回答

普段、勉強しているところや遊びに行っているところ、仲間や友人と集まる場所
自宅、友人の家、学校、公園、カフェ（飲食店）、カラオケ、映画館、ゲームセンター

焼津市で暮らしていて、便利だなと思うところ／不便だなと思うところ
【便利なところ】鮮魚が充実している・魚が食べられること、駅が近い・交通のところが便利
【不便なところ】大井川地区に駅がない、田舎よりなところと映画館がないこと・地震に弱いところ、（高校生が）遊べる場所ない、くつろげるところがない

移住者を増やす、もっと人が来てもらえるようにするには

- ・子育てに優しい環境を作る
- ・さかなセンターを改修工事して、若者ウケが良い見栄にする
- ・魅力をSNSなどでどんどん発信していく
- ・駅前の商店街をもっと活発にさせる、駅周辺を活性化させる
- ・高校生が好きそうなものを増やす
- ・焼津にしかないもののスポット？的なものを作る

将来「仕事をする」ことへのイメージ

- ・大変なイメージ
- ・事務系の仕事で、あまり残業はしたくないけれど、給料とかそういったもので釣り合いが取れればいい
- ・金が稼げるかが不安
- ・病院で働きたい
- ・初任給が良くて人間関係も恵まれて安定した暮らしが出来るといいなと思う
- ・人の役に立つような所で働きたい

将来「結婚する」ことへのイメージ

- ・責任を感じる
- ・結婚したくない。自分の時間を取られたくないから。
- ・めんどくさそう
- ・結婚したいが、どのように過ごすのかわからない
- ・結婚したいけど、男性みんなが家事を手伝って欲しい
- ・結婚したい。家族になるということ。

将来「子育てをする」ことへのイメージ

- ・子どもの成長を楽しむ事ができるイメージ
- ・子供は欲しくない。責任を持ちきれなくなりそうだし、育児は大変だといろんな人が言ってるし、自分もそう思うから。
- ・子育ては大変そうだけど子供の成長が見れるから子育てはしたい。子供は欲しい。
- ・子供は欲しい。かかるお金の量がどれくらい必要かが分からないから不安。
- ・子育ては大変
- ・子供が欲しい。大変そう。

③ 小中学生向けアンケート調査

調査対象者	市内小学校、中学校に通う児童・生徒
調査期間	令和6年7月26日（金）～令和6年8月31日（土）
調査方法	インターネットによる回答
回収数	小学生：89件 中学生：19件

④ こども会議

対象者	市内小学校に通う児童
開催日	令和6年7月19日（金）
参加者数	小学1年生から5年生まで25名が参加
調査方法	グループワーク

①悩みごと・困りごと

【小学生】なやみごとはないが最多。ともだちのこと・しょうらいのこと・がっこうのことが同程度。

【中高生】将来のこと・悩みごとはないが最多。次いで学校生活。友人のこと、インターネットやSNSのことと続く。

②相談できる人

【小学生】親が約90%で最多。次いで友達となっている。

【中高生】友人が70%で、家族が50%程度となっている。

③居場所

【小学生】自宅や友達の家、公園等の遊べる場所が居場所となっている。

【中高生】落ち着いてくつろげる場所、好きなものがある・できる場所が居場所となっている。

④結婚について

【小学生】設問無し

【中高生】結婚したいと思う割合は約42%、あこがれはあると答えた割合は約26%で、まだわからないと回答した割合は約32%であった。
中高生の段階で結婚したいと思わないと回答した割合は0%であった。

こども・若者の意見聴取結果、市に求められていること

まとめ

小学生

公園の大型遊具等の整備
学校施設の整備

中高生

中高生に魅力のある居場所づくり
将来に希望の持てる環境づくり

青年期～子育て世代

経済的支援
就労支援
結婚支援
居場所づくり
学校教育の充実
イベントなどの情報発信
相談体制の充実

施策の体系への反映①

基本方針 1 多様なニーズに応じた切れ目のない支援の充実

基本施策	施策の方向性	こどもの意見聴取反映検討
こども・若者の権利の尊重	こども・若者が権利の主体であることを周知し、理解する取組の推進	
多様な体験活動、活躍機会の提供	保育・教育現場での機会の提供、遊び場や居場所の充実、スポーツや文化等を通じた体験の充実	<ul style="list-style-type: none">・放課後等の居場所づくり（家や学童以外）⇒こどもたちが「外に出る」「集まる」きっかけを作りたい・立地や交通状況等、市の特性を活かしたまちづくり、公共施設の充実
こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供	各種手当や医療費の助成	
こどもの貧困対策の推進	「教育の支援」「生活の支援」「保護者の就労支援」「経済的支援」の4つの重点項目のもと、支援を必要とする家庭への支援	<ul style="list-style-type: none">・経済的支援の充実
配慮が必要なこども・若者・家庭への支援の充実	貧困対策、発達支援、障がい児施策、児童虐待防止対策等の充実、外国にルーツのある方への支援と配慮	<ul style="list-style-type: none">・ヤングケアラーの周知啓発、早期発見・早期対応
子どもの安心と安全の確保	通学路や施設の安全確保、見守り体制の充実、交通安全と防犯対策	<ul style="list-style-type: none">・災害対策の強化

施策の体系への反映②

基本方針 2 こどもや若者、子育て当事者の視点に立ったライフステージに応じた支援の充実

基本施策		施策の方向性	こどもの意見聴取反映検討
妊娠期から幼児期まで	こどもや保護者の健康の確保	結婚・妊娠から子育てまで継続性を持った相談・訪問体制、各種検診・訪問事業を通じた継続的支援、こどもや保護者の健康維持・増進のための保健事業	
	幼児教育・保育の充実	幼児教育・保育の質の確保・向上、小学校への円滑な接続	
	地域子育て支援体制の充実	量の見込に基づいた地域子ども・子育て支援事業の展開、地域における子育て支援サービスの充実とネットワークの形成	
学童期・思春期	学校等における子どもの健やかな成長支援	教職員の力量向上、支援を必要とするこどもをサポートするための相談・支援体制強化、教育プログラムの充実	・小中高生の悩みごとの相談（教職員等）⇒家族以外の相談先の確保
	放課後児童対策の充実	放課後児童クラブの整備、放課後児童クラブへの支援	・安心して過ごせる場所の整備
青年期	将来に向けた新生活への支援	経済的支援、情報提供の充実	・就学支援（経済的支援等） ・相談窓口の整備、周知
	若者への結婚・就労支援	就労によるキャリア形成とライフイベントを両立できる環境への取組支援	・就労、結婚や子育てに関するイメージづくり⇒就労して結婚する、こどもを持つという選択を積極的にできるようにしたい

施策の体系への反映③

基本方針 3 安心して子育てできる環境づくり

基本施策	施策の方向性	こどもの意見聴取反映検討
子育てや教育に関する経済的負担の軽減	経済的負担の軽減策の推進	・就学支援（経済的支援等）
地域や家庭での教育力の向上	子育てに関する講座や体験学習等教育プログラムの充実	
仕事と家庭のバランスのとれた就労環境づくり	子育てしやすい就労環境の促進、仕事と家庭の両立の推進	・「仕事をしながら子育てができる」ことのイメージ戦略
ひとり親家庭への支援	経済的負担の軽減策の推進	・就学支援（経済的支援等）
子育てに関する情報提供の充実	情報提供・相談体制の強化	・色んな制度の周知、相談できる環境づくり